

# 月刊[里親だより] 第40号

2011年10月25日(火)発行(財)全国里親会  
☎ 03-3404-2024 FAX 03-3404-2034  
(HPやメーリンググループにアップしています。)

<http://www.zensato.or.jp/> E-mail: [info@zensato.or.jp](mailto:info@zensato.or.jp)  
メーリンググループ [zenkokusatooyakai@yahoogroups.jp](mailto:zenkokusatooyakai@yahoogroups.jp)

## ■ 被災児童等へ第二次支援と被災里親家庭へお見舞い金をお送りしております。

全国里親会では、東日本大震災によりご両親を亡くされた児童を養育されている方へ、第二次支援として、被災児童1人当たり10万円の支援金をお送りするにいたしました。(第一次支援金の申請が未だお済みでない方には、併せて支援します。)

また、被災里親家庭に、被災状況に応じて、見舞金をお送りしております。被災状況と見舞金の額は次のとおりですが、家族の死亡と車の流失など、被災状況が重複した場合は、それぞれ加算することとしております。

なお、この基準は、会員に対するもので、それぞれ1里親家庭への金額ですが、**会員でない里親家庭には、一律10万円**をお見舞い金としてお送りすることとしております。

- 家屋の全壊 100万円
  - 家屋半壊又は床上浸水 50万円
  - 舟、車の流失 50万円
  - 家族の死亡、行方不明 50万円
  - 仮設住宅や知人宅等に避難している場合50万円  
(被災時には会員でなかったが、現在会員である場合にも、この基準を適用します。)
- 申込書を全国里親会にFAX又は郵送して下さい。

## ■ ベネッセでも「通信教育奨学制度」を創設

ベネッセコーポレーションでは、ご両親を亡くされた震災孤児(0歳から高校3年生まで)を対象に、無償で教材をお届けする「ベネッセ通信教育奨学制度」を創設し支援することとしています。

対象商品は、次のとおりです。**各講座のお問い合わせやお申込みは、無料電話をご利用下さい。**

- ・「こどもちゃれんじ」 0から6歳(就学前)  
しまじろうと一緒に豊かな遊びと生活体験  
0120-55-41103 (通話料無料)
- ・「進研ゼミ小学講座」 小1から6年  
学力、学習習慣が身につく  
0120-977-377
- ・「進研ゼミ中学講座」 中学1~3年生  
授業理解、テスト対策も万全  
0120-929-100
- ・「進研ゼミ難関私立中高一貫講座」 中学1~3年生  
0120-933-599
- ・「進研ゼミ高校講座」 高校1~3年生  
完全個別教材とサポートで志望大学を目指す

0120-322-211

ベネッセの通信教育サービスを、無償で提供するもので、幼児から高校3年生まで継続して受けることができます。

## ■ 「里親支援体制の充実」について

全国里親大会あいち大会で、厚生労働省高橋家庭福祉課長から「社会的養護の課題と将来像について」行政説明がありました。

特に、里親委託の推進について

- 児童相談所の体制の整備(里親担当職員の配置)
- 児童養護施設、乳児院の「里親支援担当職員の配置」(24年度新規予算要求事項)
- 里親支援機関事業の効果的な実施(里親会の公的な役割、里親委託等推進員の設置など体制の強化) 等

年内にも理事会及び評議員会(出来れば全国会長会議)を開催し、厚生労働省の意向や全国里親会のあり方等について協議したいと思っています。

## ■ 里親と施設の連携について、シンポジウムを開催

第65回児童養護施設長研究協議会がさいたま市大宮区で11月9日から11日まで開催されます。

シンポジウムは、3日目の11月11日(金)10:10から「里親だから出来ること、施設だからできること」と題して開催されます。

シンポジストは、宮島清(日本社会事業大学専門職大学院准教授)、星野崇(全国里親会副会長)、伊達直利(全国児童養護施設協議会副会長)、コーディネーターに山縣文治(大阪市立大学大学院教授)を迎えての公開プログラムです。特に、今回は、全養協加賀美会長が多くの里親が参加できるようにと特別に席を確保して下さいました。**参加費は、資料代として1,000円**です。

## ■ 11月は、児童虐待防止推進月間です。

子どもを虐待から守るために、「虐待を受けたと思われる子どもを見つけたときは、児童相談所や市町村に連絡して下さい。」

**全国共通ダイヤル0570-064-000**

